

アラビア語の「ワタン(Watan)」とは、人が生を織りなす場、英語の homeland (祖国 / 故郷) を意味します。人は「ワタン」とさまざまな形で、痛みに満ちた関係を生きています。ワタン研究プロジェクトでは、「シリーズ《共生の未来》」と題し、人間にとって「ワタン」とは何かを問う一連の企画を開催します。シリーズ第2弾の今回は、クルド民族音楽の専門家、セルダル・ジャーナン氏をトルコからお招きし、シンポジウムを開催します。トルコに暮らすクルド人は同化政策のもと、クルド人アイデンティティを否定され、長らく母語のクルド語もクルド音楽も禁じられてきました。ジャーナン氏は、ハッカリ地方を中心にクルディスタン各地を訪ね歩き、クルドの歌と音楽を口伝で収集しています。ジャーナン氏によるクルド民謡の歌・演奏の実演も織り交ぜつつ、「歌・音楽」を通して、人間とHomeland (祖国 / 故郷) / ネイション (国家) の関係を考えます。

プログラム 全3部構成

14:00 開演 (13:30 開場)

14:10 **第1部** 映画「地図になき、故郷からの声」上映 (60分)

15:25 **第2部** 基調講演「禁じられた歌声を求めて」セルダル・ジャーナン 聞き手：岡真理

16:10 **第3部** パネル・ディスカッション「歌、ネイション、ホームランド」

セルダル・ジャーナン × 濱崎友絵 × 岡真理

17:30 終了

Voices from the homeland

**地図になき、
故郷からの声**

母語が禁じられるなか、 Denggebeju は山をめぐり谷をめぐり、村々を訪ね、人々の記憶をクルド語で歌い続けた。「声」を通して描かれる、クルドの人々の記憶の物語。

中島夏樹監督, 2021年,
東京ドキュメンタリー映画祭短編グランプリ



Serdar Canan (セルダル・ジャーナン)



トルコのクルド民謡・民族音楽研究者。ハッカリ出身。トルコ各地をまわり、クルド民謡、音楽を集める。2015年、アムステルダムで初演されたクルド語オペラ「トスカ」出演。2019年、ミマル・スィナン芸術大学(イスタンブル)で、「ハッカリ及び周辺地域の伝統民族舞踊とその音楽的特徴」の研究で修士号取得、修士論文は書籍として刊行準備中。短編映画 Barê Giran (2019 トルコ語・クルド語) のポストプロダクション責任者。伝統楽器パーラマの奏法指導の傍ら、クルド音楽の歴史と理論、奏法について、クルド語による論考を発表、講師として出演するクルド音楽解説番組 Selqe を youtube で配信中。

濱崎 友絵 (はまざき・ともえ)

東京藝術大学大学院音楽研究科博士課程修了。博士(音楽学)。ハジェテュベ大学付属国立アンカラ音楽院、ボアズィチ大学(イスタンブル)に留学。現在、信州大学人文学部准教授。主な研究テーマは音楽における西洋化・近代化。主著に「感性を『統合』する——国民音楽からトルコ民俗音楽へ」(小笠原弘幸編『トルコ共和国 国民の創成とその変容』九州大学出版会, 2019), 『トルコにおける「国民音楽」の成立』(早稲田大学出版部, 2013) ほか。



岡 真理 (おか・まり)

京都大学大学院人間・環境学研究科教授、専門は現代アラブ文学、パレスチナ問題。「思想としてのパレスチナ」をテーマに《パレスチナ問題》を現代世界に生きる人間の普遍的な思想課題として考究している。著書に『ガザに地下鉄が走る日』(みすず書房, 2018), 『アラブ 祈りとしての文学』(みすず書房, 2008) ほか。

京都大学 吉田南キャンパス
人間・環境学研究科棟 地下講義室



Google Map ▶

【共催】 科研基盤研究 (A) 「トランスナショナル時代の人間と「祖国」の関係性をめぐる人文学的、領域横断的研究」(代表: 岡真理) / 科研基盤研究 (A) 「イスラーム・ジェンダー学と現代的課題に関する応用的・実践的研究」(代表: 長澤栄治)

【問合せ】 projectwatan3@gmail.com <http://www.projectwatan.jp/>

5/31(火) クルド
故郷に響け我が魂のルフラン2

関西学院大学上ヶ原キャンパス図書館ホール

「クルドの語り部 Denggebeju
— 故郷の声とイメージ」

16:00 「地図のなき、故郷からの声」上映
17:05 実演 セルダル・ジャーナン (歌、演奏、解説)
17:40 対談 セルダル・ジャーナン, 米山知子

6/4(土) クルド
故郷に響け我が魂のルフラン3

広島市留学生会館ホール

「郷土の声、異郷の言葉
クルドと日本を聴く・語る」

16:00 「地図のなき、故郷からの声」上映
17:15 演奏と歌、パネル・ディスカッション
セルダル・ジャーナン, イルファン・アクトン,
東琢磨, 岡真理 司会: 田浪亜央江

シリーズ《共生の未来》

第1弾

「それでも僕は生きる」

5月25日(水) 17:00 「東京クルド」上映
19:00 日向史有監督講演会
会場: 京都大学吉田南キャンパス人間・環境学研究科棟 地下講義室

第3弾

「指宿昭一弁護士 講演会」

ウイシュマ・サンダマリさんの死を通して、
日本の入管政策について考える
6月28日(火) 18:40 開演
会場: 京都大学吉田南キャンパス人間・環境学研究科棟 地下講義室